

北里大学病院を受診された患者さん・ご家族の方へ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 (整理番号)	重症外傷患者における亜鉛投与の有効性についての単施設後方視的研究 (B25-064)
当院の研究責任者 (所属・職位)	医学部救命救急医学 助教 金 宗巧
他の研究機関 および 各施設の研究責任者	なし
本研究の概要・背景・目的	重症感染症、重症外傷において栄養療法の重要性は広く認識されています。栄養療法では三大栄養素である脂質、糖質、タンパク質以外にも微量元素の補充も重要であり、微量元素の中でも亜鉛に関してはDNAの構築、免疫力や創傷治癒などのにおいて重要な役割を担っていると考えられています。当科では以前より入院患者の定期的な亜鉛を含めた血液データのフォローと低亜鉛血症の患者に対する積極的に補充を実施してきておりそこでこれまで蓄積した膨大なデータを解析することで、外傷患者に対する亜鉛補充療法の有効性を評価することができると考え調査いたします。
調査データ 該当期間	2014年4月1日から2023年3月31日までの入院患者かつ2014年4月1日から2023年10月31日まで退院した患者様の情報を調査対象とします。
対象となる患者さん	2014年4月1日から2023年3月31日までに外傷で集中治療室へ入院し経口栄養剤(ブイクレス®)または亜鉛製剤を処方された患者様
研究の方法 (使用する試料等)	利用する情報 2014年4月1日から2023年10月31日までの電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します。
試料・情報の 他の研究機関への 提供および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
利用又は提供を開始 する予定日	利用又は提供開始予定日： 研究機関の長の許可日から
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究の遂行のための費用は、医学部救命救急医学医局研究費を使用します。研究に関する利益相反は、北里大学利益相反委員会で審査を受け、適切に管理されます。
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

	<p>ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 所属・職位:北里大学医学部救命救急医学 助教 担 当 者:金 宗巧(キン ムネヨシ) 電 話:042-778-8111</p>
備 考	